

信仰は世に勝つ

(ヨハネの福音書16・29～33)

一、分かる、信じる、とは

29節、30節に「弟子たちは言った。

「ああ、今あなたははっきりとお話になって、何一つたとえ話はなさいません。いま私たちは、あなたがいつさいのことをご存じで、だれもあなたにお尋ねする必要がないことがわかりました。これで、私たちはあなたが神から来られたことを信じます。」とあります。イエスは神の国の善き知らせを宣べ伝えるにあたり、たとえを語られました。そのたとえを、当時の宗教指導者たちが聞いても真意を理解しなかったようです。ヨハネの福音書10章6節に書かれています。「イエスはこのたとえを彼らにお話しながら、彼らは、イエスの話されたことが何のことかよくわからなかった。」とありますから。では、弟子たちは分かったのでしょうか。やはり、分からなかったようです。ヨハネの福音書から離れますが、たとえば種を蒔く人のたとえをイエスが語られた時のことです。弟子たちには意味が分かりませんでした。だからこそ、イエスのところに行つて解説の言葉を聞いたわけですから、そこがぎよりの聖書箇所では、弟子たちはイエスに、次のように語っています。29節です。「弟子たちは言った。

「ああ、今あなたははっきりとお話になって、何一つたとえ話はなさいません。」と。このように弟子たちが語った理由は、その前の25節で、イエスが次のように語っておられたからです。「これらのことを、わたしはあなたがたにたとえて話しました。もはやたとえでは話さないで、父についてははっきりと告げる時が来ます。」と。そういうわけで、弟子たちは「そうだったのか。分かった。信じます」と確信を強めたようです。それが30節です。「いま私たちは、あなたがいつさいのことをご存じで、だれもあなたにお尋ねする必要がないことがわかりました。これで、私たちはあなたが神から来られたことを信じます。」と。

ところが、この「信仰的にも見える言葉」に対して、イエスは何と語られたでしょうか。31節より32節前半です。「イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは今、信じているのですか。見なさい。あなたがたが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、わたしをひとり残す時が来ます。」と。弟子たちが「分かりました。信じます」と語ったときに主イエスは、「あなたがたが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、わたしをひとり残す時が来ます」と語られたのです。そして、現にその翌日イエスが捕らえられると弟子たちは皆逃げてしまいました。そういうわけで、弟子たちが「分かった。信じた」と確信したとき、実のところは

何も分かっていなかったのです。弟子たちが悟ったのは、聖霊が降られてからです。

二、信仰は世に勝つ

32節に戻りますが、イエスは弟子たち

に「あなたがたが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、わたしをひとり残す時が来ます」とおっしゃいました。すなわち「あなたがたは世に勝てない」とおっしゃったのです。「世」とは、何なのでしょうか。それは、悪魔、すなわち聖なる神に敵対する勢力が支配している、私たちが生活している世界のことです。このように申しますと、「神の御力は、この世には及ばないのでですか」と疑問を持たれる方がいると思われまます。はい、たしかに神はすべてを支配しておられます。ですが、今の時代、神が悪魔の暗躍をいつときの間、許しておられるようです。しかし神の子イエスはおっしゃいました。33節の終わりです。「わたしはすでに世に勝つたのです」と。イエスが世に勝つたのは、なぜなのでしょう。か。神の子だったからでしょうか。そのような受け止めてしまったら、弱さをまとった私共にとって、イエスは高いところにおられる方であつて、強い人しか真似をすることのできないお方になってしまいます。しかし、イエスは私共にとつて、真似をすることのできる模範です(↓へブル4・15参照)。

では、主イエスはどのように模範を残してくださったのでしょうか。32節後半に書かれています。「しかし、わたしはひとりではありません。父がわたしといっしょにおられるからです。」と。父なる神との関係において、人となられた神イエスは、世に打ち勝たれました。

この形は、そのまま私たちに適応されます。それは、神との平和という形で現れます。それを語っているのが33節、すなわち十字架にかかれる前の晩に、イエスが言い残された最後の言葉です。「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあつて平安を持つためです。あなたがたは世にあつては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝つたのです。」 皆さまが教会で一堂に会して神を礼拝し、神との平和・平安を味わうのは良いことです。礼拝をささげるのは、もちろん人間としての行為です。互いの交流もあります。ですが、単に賛美をささげた、祈りをささげた、説教を聞いた、教会員との交流ができて元気になった、を超えるものが、このところにはあるはず。それを知らず、それを保つことが、世に打ち負かされない者となる秘訣です。言い換えるなら、世に勝つ者とされる秘訣です。

教会に連なつて、世に勝つことを体験してください。